

- 2, 3 企業とワーカーズ・コレクティブ
地域に根ざすワーカーズ・コレクティブ
- 4 ワーカーズ・コレクティブのお弁当
共同仕入れ



「この街でずっと暮らしたい」をサポート

春日部市 武里団地の実情

コーディネーターを担う「あいのて」のメンバーは、団地内に拠点を設け、登録した住民に向け生活サービスを展開しています。そのほかにもこのサービスの周知を目指して団地内でイベントも開催しています。

実験事業から市民事業へ

団地内で開催されるイベントに集まる高齢者からは、もしもの時は親せきやご近所は頼れないなど深刻な悩みも聞かれます。話し相手を求めている人も多いようです。また、通院や外出に困難を持つ人への移送サービスも必要とされていると、「あいのて」のメンバーは言います。

高齢期の暮らしを
そこに暮らす人が一



コーディネーターの
田中さん後藤さん、



「緊急対応ノート」の
書き方を学ぶ

東武スカイツリーラインせんげん台駅と武里（たけさと）駅をまたいで広がるマンモス団地のひとつ武里団地は、建設から40数年が経っています。かつては、子供の声か団地中に響き、子育て世代の生活の場でした。現在では、5300戸中1割が空き家になり、団地内と近隣に4校あった小学校も1校になっています。当然のことながら高齢化率は38.1%と高く、一人暮らしの高齢者も多く、40年前は商店街であった場所には、地域包括支援センターが入居するなど年月を経てその姿は時代と共に大きく変化してきています。

現在4つある自治会は週1回「ふれあい喫茶」を集会所で開催し、高齢者の居場所作りの試みが見られます。デイサービスや介護事業所の車両が団地内を巡っています。加えて日常の暮らしを支える細かなサービスが必要となっています。

高齢化に対応する実験事業を行う

NPO法人あいのて

UR都市機構では、団地住民の高齢化に対応する事業を試みています。株式会社イーソリューションズがURから受託するつながりネットワーク事業です。1年半の間試験的に運営され、ビジネスとして成り立つ事業になるか実験するとしています。

この事業が地域のワーカーズ・コレクティブに再委託され、NPO法人「あいのて」が受託しています。

つながりネットワーク事業

- ① 事務所前つながりコール
週1回電話をかけ、お話をして様子を確認するサービス。
- ② つながりチェック
週1回住居周辺を見回り、様子を確認するサービス、確認後は終了のメモをお届け。
- ③ 相談受付
何処に聞いたらいいかわからないお悩みを電話で受け付けます。
- ④ 共同購入
訪問美容やクリーニングの受付なども計画。